

進捗状況報告

③ 耐震性防火水槽

令和8年8月22日
佐伯区維持管理課
危機管理室災害対策課

耐震性防火水槽

概要

飲料水兼用型耐震性防火水槽は、大規模地震等により水道管施設の破損等が生じ、水道水の供給が停止した場合に備え、地下に溜めた水道水を、市民への飲料水の供給などに活用する施設である。

指定避難所等を中心に、広島市内に36箇所(うち佐伯区内に6箇所)整備されており、**断水が発生した場合でも、当面必要となる飲料水を確保できる体制を整えている。**



耐震性防火水槽の設置状況

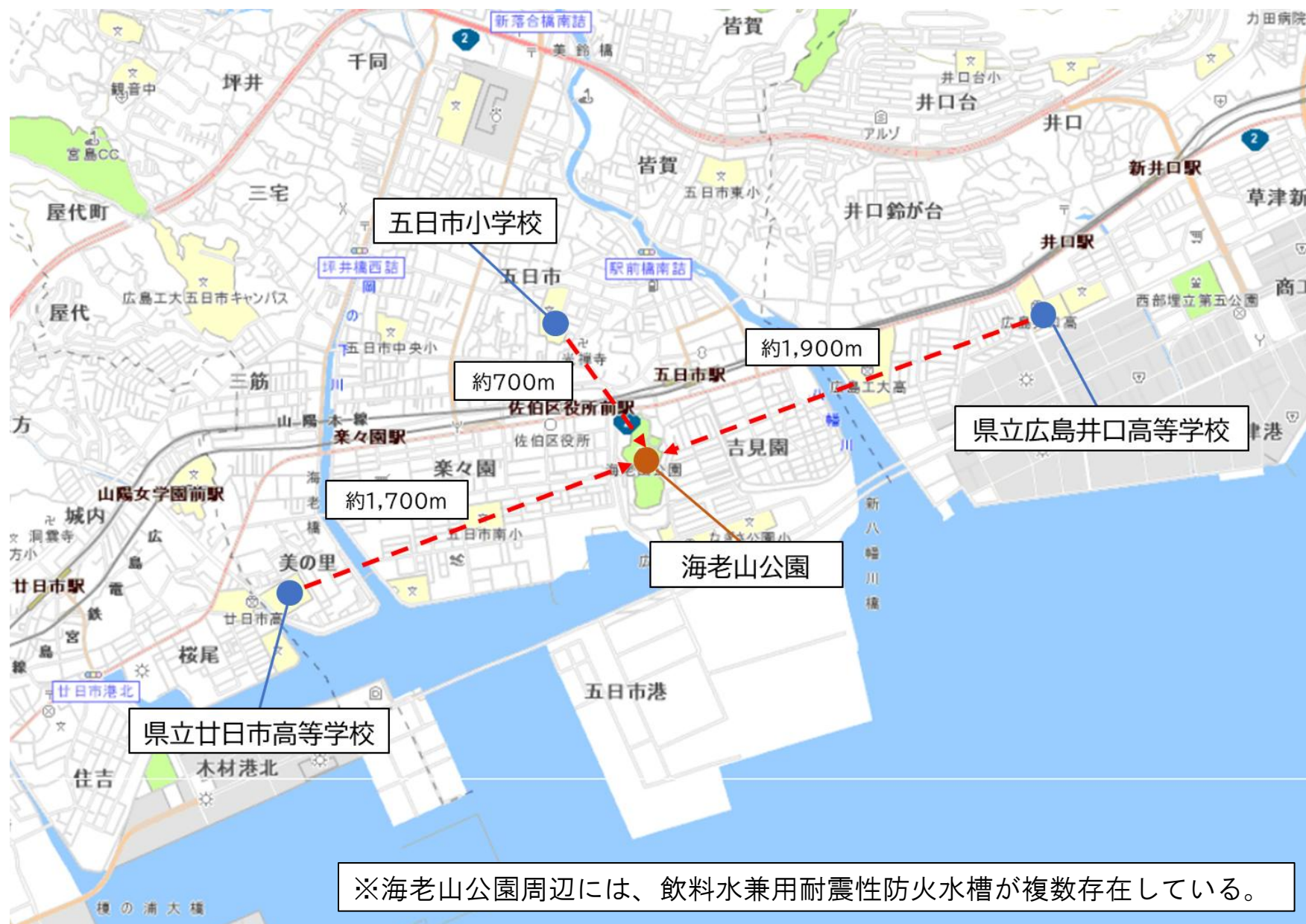


【佐伯区の設置箇所】

- ・31 五日市中学校
- ・32 県立廿日市高等学校グラウンド
- ・33 広島工業大学
- ・34 五月が丘小学校
- ・35 五日市小学校
- ・36 八幡東小学校

令和7年6月現在

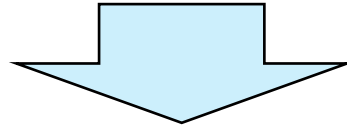
(参考)海老山公園周辺における整備状況



検討内容と方向性

検討内容

- (1) 既存の防火水槽等により、**想定断水人口に対する必要飲料水量を既に確保できている。**
 - 新たな飲料水兼用耐震性防火水槽を整備する必要性は低い。
- (2) 海老山公園周辺には、**既に3基の飲料水兼用耐震性防火水槽が整備されている。**
 - 新たな整備の必要性及び有用性が低い。



方向性

一旦、海老山公園への耐震性防火水槽の整備は見送ることとするが、将来、その必要性が高まった際には、設置の要否を含めて再度検討を行うこととする。